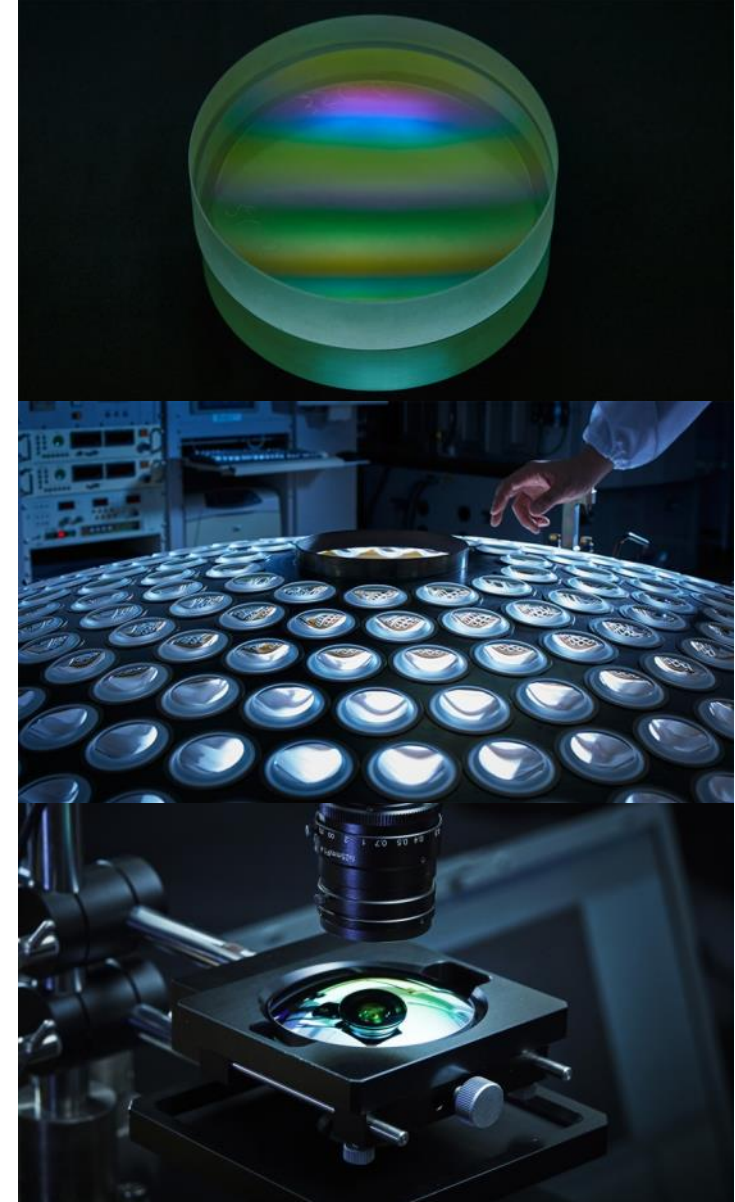


2017年12月期 第2四半期決算説明会

2017年8月7日（月）
株式会社タムロン
（証券コード：7740）



目次

I.第2四半期決算概要

- 1. 2017年上期総括 P.4
- 2. 2017年上期実績 P.5
- 3. 営業利益変動要因 P.6
- 4. 2017年セグメント別上期実績
 - ①写真関連事業 P.7
 - ②レンズ関連事業 P.8
 - ③特機関連事業 P.9

II.通期計画

- 1. 2017年通期見通し P.11
- 2. 2017年通期計画 P.12
- 3. 営業利益変動要因 P.13
- 4. 2017年セグメント別通期計画
 - ①写真関連事業 P.14
 - ②レンズ関連事業 P.16
 - ③特機関連事業 P.18

III.参考情報

- 1. 財政状況 P.21
- 2. 設備投資、減価償却費、研究開発費 P.22
- 3. キャッシュ・フロー P.23
- 4. 配当金の推移 P.24
- 5. 主要経営指標 P.25
- 6. 為替影響 P.26

I. 第2四半期決算概要

TAMRON

I - 1 . 2017年 上期総括

【 経 営 環 境 】

- 市場環境 : デジタルカメラ市場は前期比プラス成長と底打ち傾向
 - ・ レンズ交換式カメラは前期比12%増
(一眼レフ : 前期比5%減、ノンレフレックス : 前期比65%増)
 - ・ 交換レンズも前期比4%増
 - ・ レンズ一体型カメラも前期比11%増
- 為替動向 : 対ユーロで若干の円高で推移

【 当 社 業 績 】

- 前期比 :
 - ・ レンズ関連、特機関連が増収も、写真関連の減収により減収。
 - ・ 粗利率向上、販管費減も、売上減に伴う粗利減を補えず減益。
- 計画比 :
 - ・ 写真関連の売上未達の影響により、売上は未達。
 - ・ 原価低減、販管費抑制、円安ユーロ高の為替影響等により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに大幅な計画達成。

TAMRON

I - 2 . 2017年 上期実績

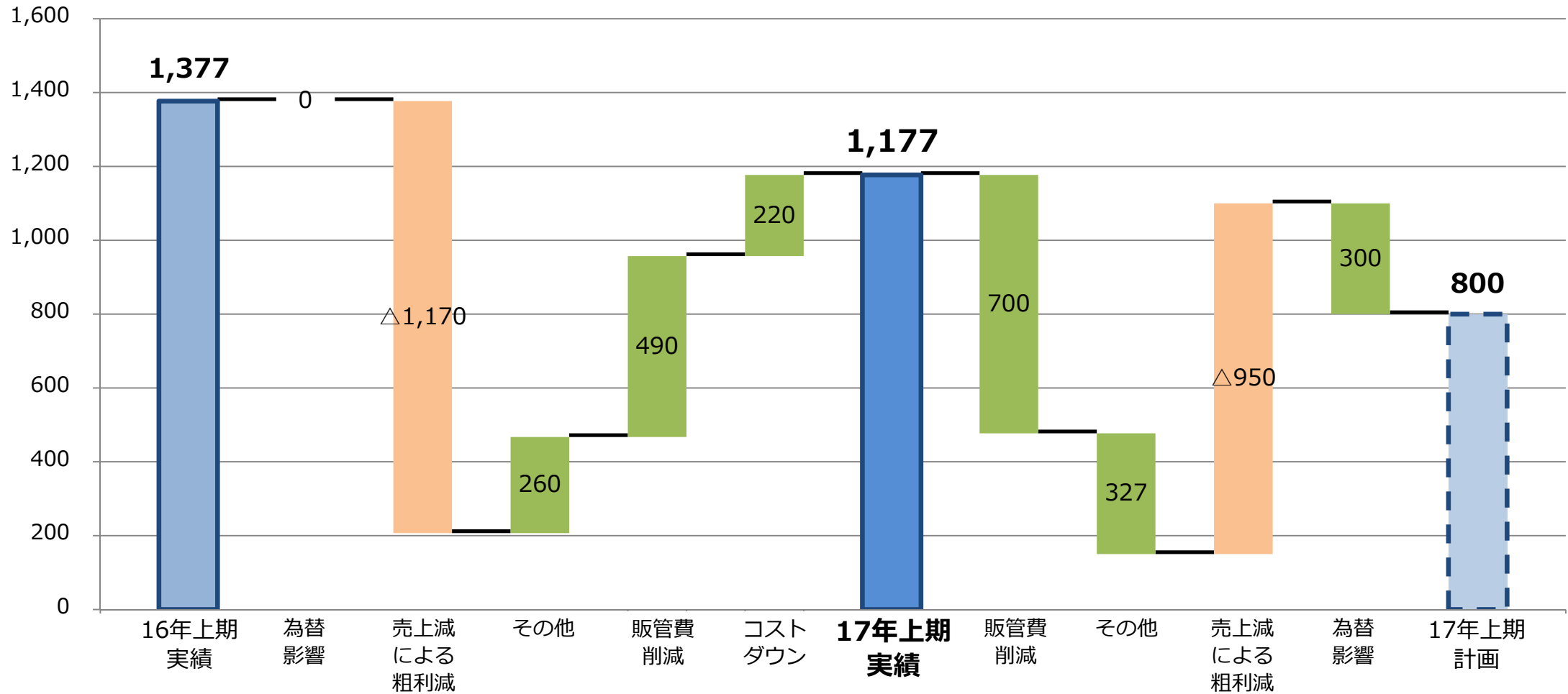
(単位：百万円)

	2016年 上期実績	2017年 上期計画 (期初計画)	2017年 上期実績	増 減 (対前年上期)		増 減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	30,499	28,500	26,912	△3,586	88.2%	△1,587	94.4%
営業利益	1,377	800	1,177	△200	85.5%	+377	147.2%
営業利益率	4.5%	2.8%	4.4%	△0.1%	—	+1.6%	—
経常利益	1,486	800	1,143	△343	76.9%	+343	142.9%
経常利益率	4.9%	2.8%	4.2%	△0.7%	—	+1.4%	—
四半期純利益	934	600	912	△22	97.6%	+312	152.0%
純利益率	3.1%	2.1%	3.4%	+0.3%	—	+1.3%	—
ドル	111.72	105.00	112.35	+0.63	—	+7.35	—
ユーロ	124.56	113.00	121.70	△2.86	—	+8.70	—

TAMRON

I - 3 . 営業利益変動要因

(単位：百万円)

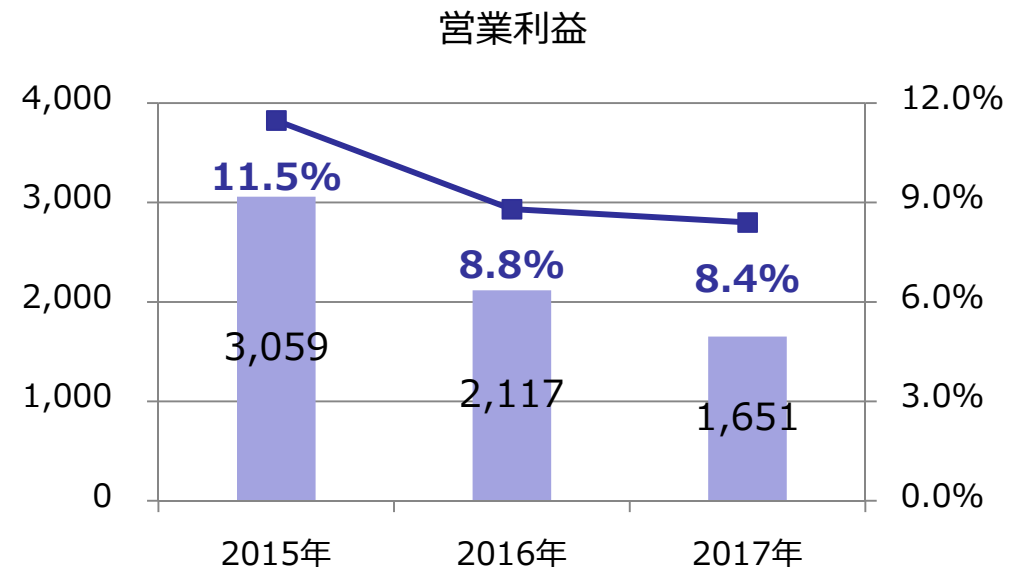
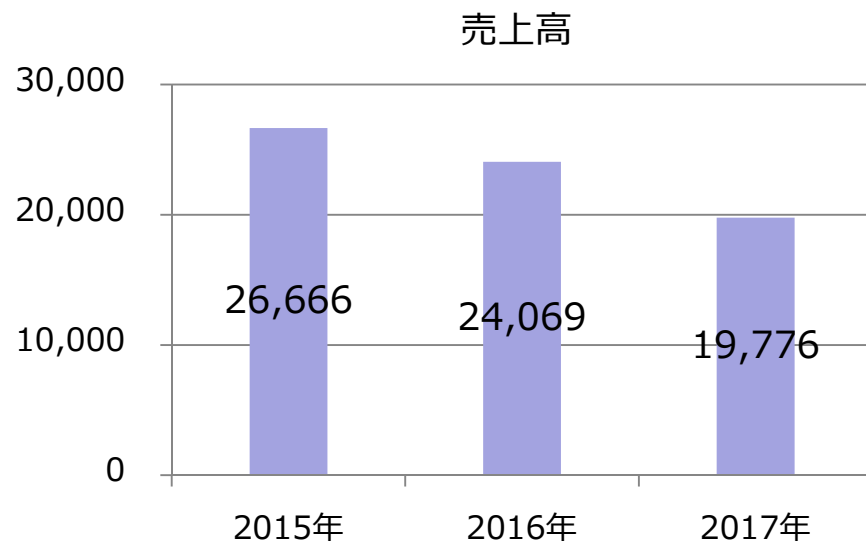


TAMRON

I - 4 . 2017年 セグメント別上期実績 ①写真関連

(単位：百万円)	2016年 上期実績	2017年 上期計画 (期初計画)	2017年 上期実績	増 減 (対前年上期)		うち 為替影響	増 減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	24,069	21,400	19,776	△4,292	82.2%	△1.0億円	△1,623	92.4%
営業利益	2,117	1,850	1,651	△466	78.0%	- 億円	△198	89.3%
営業利益率	8.8%	8.6%	8.4%	△0.4%	-	-	△0.2%	-

➤ 自社ブランド、OEM共に減収となり減益。計画比では自社ブランドで売上未達となり、利益も未達。

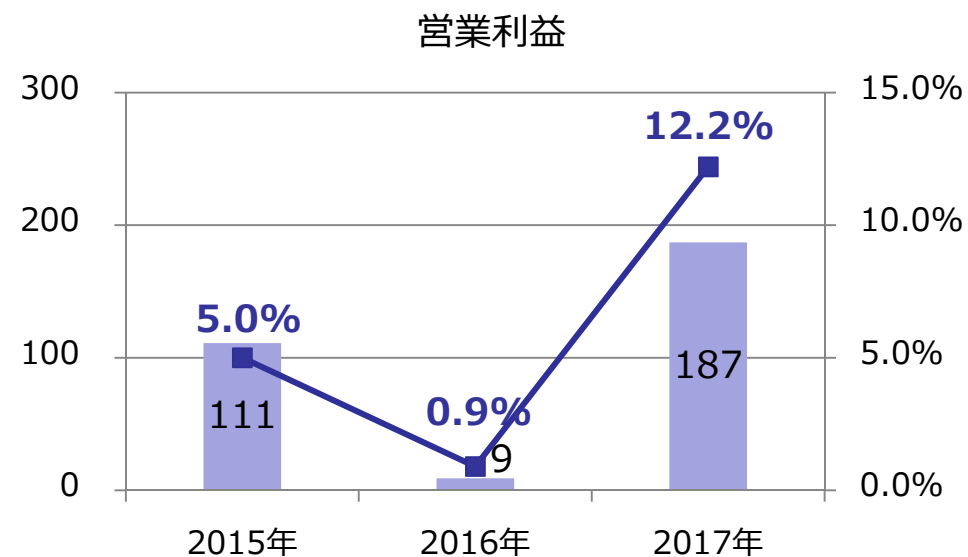
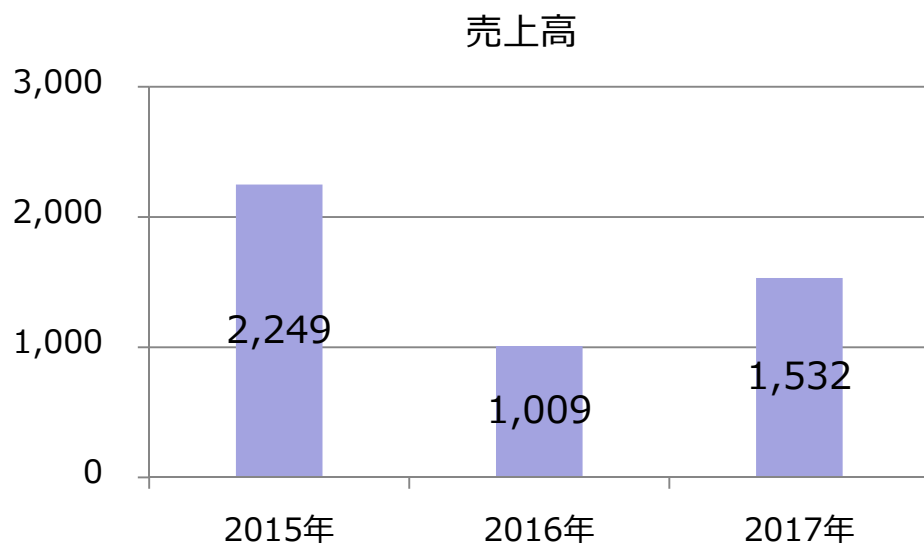


TAMRON

I-4. 2017年 セグメント別上期実績 ②レンズ関連

(単位：百万円)	2016年 上期実績	2017年 上期計画 (期初計画)	2017年 上期実績	増 減 (対前年上期)		うち 為替影響	増 減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	1,009	1,600	1,532	+522	151.7%	- 億円	△67	95.8%
営業利益	9	0	187	+177	-	- 億円	+187	-
営業利益率	0.9%	0.0%	12.2%	+11.3%	-	-	+12.2%	-

➤ DSCは前年比で3割増収。ドローンは下期から本格的出荷開始。

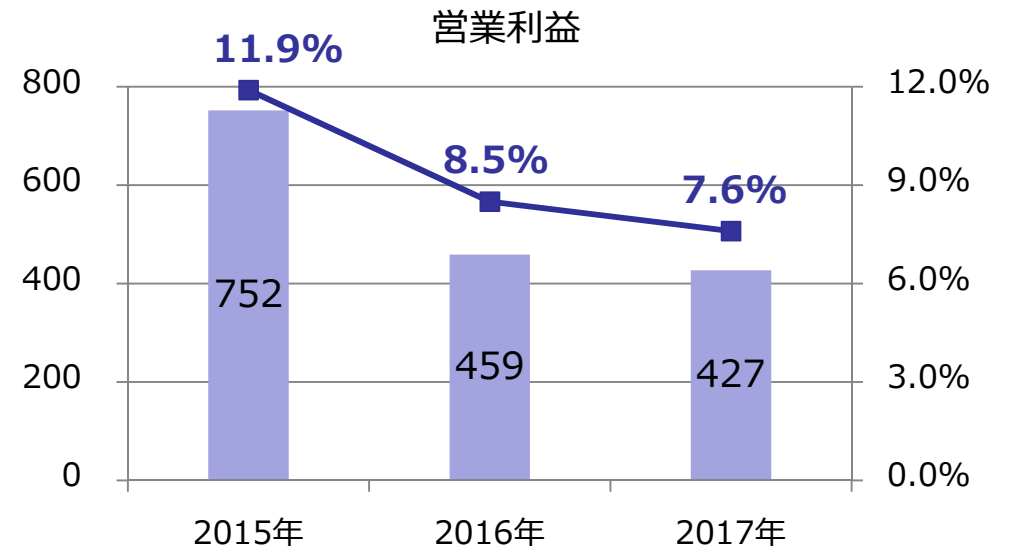
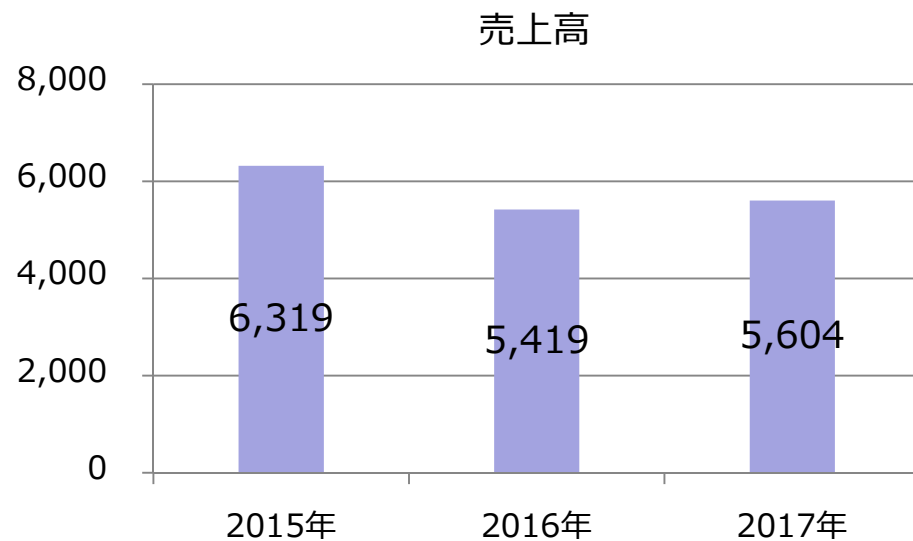


TAMRON

I - 4 . 2017年 セグメント別上期実績 ③特機関連

(単位：百万円)	2016年 上期実績	2017年 上期計画 (期初計画)	2017年 上期実績	増 減 (対前年上期)		うち 為替影響	増 減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	5,419	5,500	5,604	+184	103.4%	△0.5億円	+104	101.9%
営業利益	459	200	427	△31	93.1%	- 億円	+227	213.9%
営業利益率	8.5%	3.6%	7.6%	△0.9%	-	-	+4.0%	-

➤ 監視カメラ用レンズ、車載用レンズ共に増収。先行投資負担等で減益。計画比では売上・利益共に達成。



TAMRON

Ⅱ. 通期計画

TAMRON

Ⅱ-1. 2017年 通期見直し

【経営環境】

- 市場環境 : デジタルカメラ市場は持ち直し基調
- 為替動向 : ドル・ユーロ共に、期初前提レートに対して円安基調

【当社業績の見直し内容】

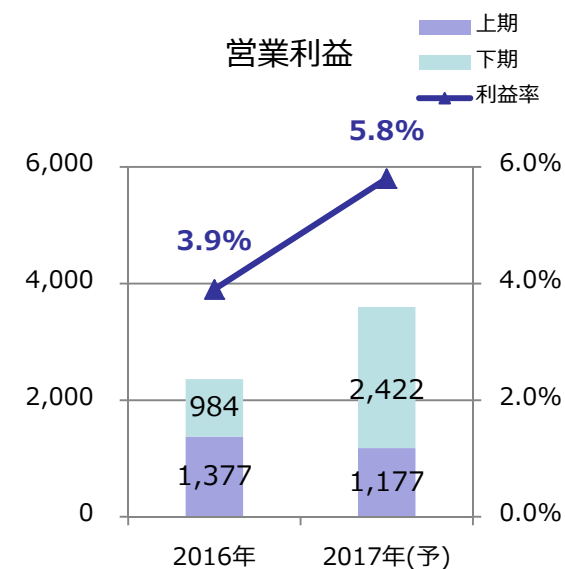
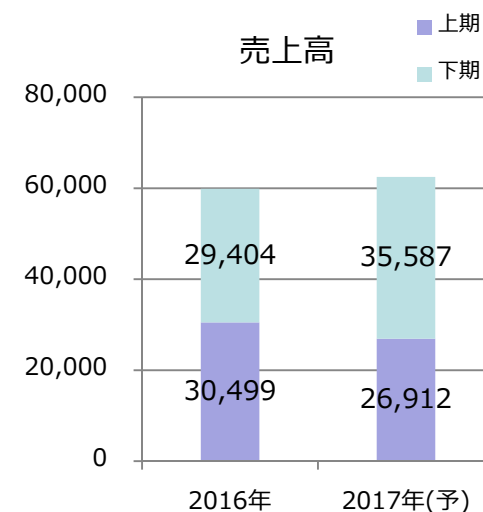
- 前提変更 : ・下期為替前提を円安方向に見直し
(1ドル：105円⇒110円、1ユーロ：113円⇒125円)
・各事業別に直近の市場環境や開発状況等を踏まえて見直し
- 連結業績 : 売上高は据え置きも、利益面は上方修正
- セグメント別 : ・上期低迷の写真関連は下期の挽回により売上・利益共に上方修正
・レンズ関連は開発スケジュールの見直しで売上は下方修正も、利益は維持
・特機関連は上期の計画達成状況から、売上は据え置きも、利益は上方修正

TAMRON

Ⅱ-2. 2017年 通期計画

(単位：百万円)

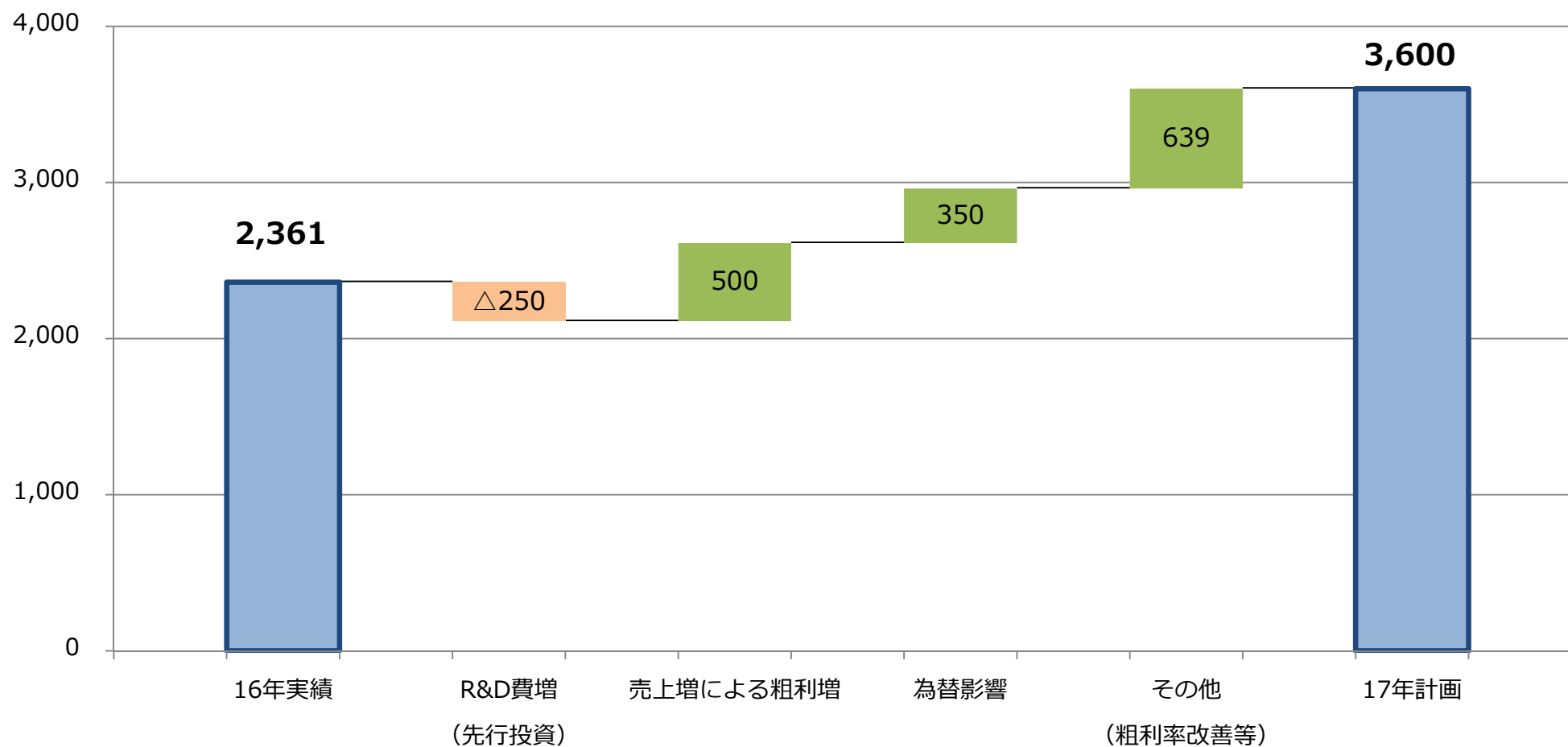
	2016年 通期実績	2017年 通期計画 (期初計画)	2017年 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	59,903	62,500	62,500	+2,596	104.3%	±0	100.0%
営業利益	2,361	3,200	3,600	+1,238	152.4%	+400	112.5%
営業利益率	3.9%	5.1%	5.8%	+1.9%	-	+0.7%	-
経常利益	2,855	3,200	3,600	+744	126.1%	+400	112.5%
経常利益率	4.8%	5.1%	5.8%	+1.0%	-	+0.7%	-
当期純利益	1,482	2,240	2,610	+1,127	176.1%	+370	116.5%
純利益率	2.5%	3.6%	4.2%	+1.7%	-	+0.6%	-
ドル	108.79	105.00	111.20	+2.41	-	+6.20	-
ユーロ	120.31	113.00	123.40	+3.09	-	+10.40	-



TAMRON

Ⅱ-3. 営業利益変動要因 対2016年通期実績

(単位：百万円)

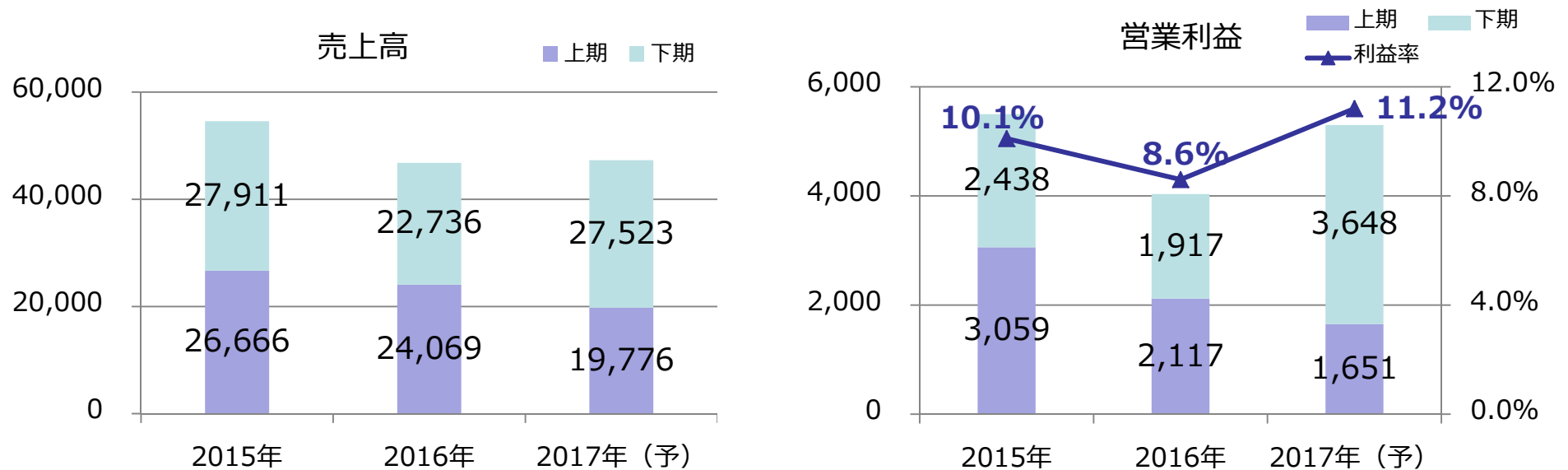


TAMRON

Ⅱ-4. 2017年 セグメント別通期計画 ①写真関連

(単位：百万円)	2016年 通期実績	2017年 通期計画 (期初計画)	2017年 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	46,805	47,000	47,300	+494	101.1%	+300	100.6%
営業利益	4,034	5,100	5,300	+1,265	131.4%	+200	103.9%
営業利益率	8.6%	10.9%	11.2%	+2.6%	-	+0.3%	-

➤ 増収増益見込みは変わらず。自社ブランド、OEM共に売上を上方修正し、利益も上方修正。



TAMRON

写真関連 自社ブランド新製品投入状況

2017年以降：新機種投入数増

開発 L/T 短縮を図りつつ、効率的かつ積極的な新製品投入

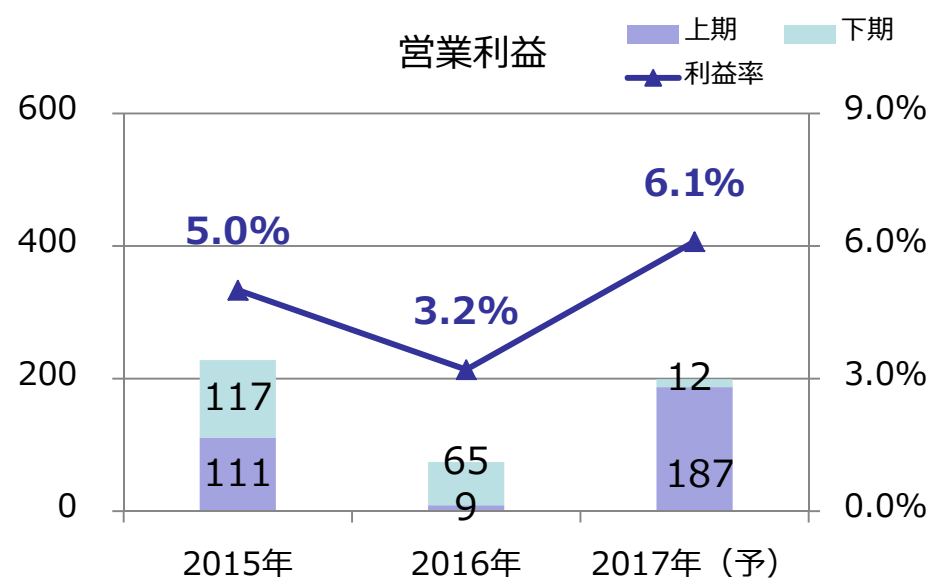
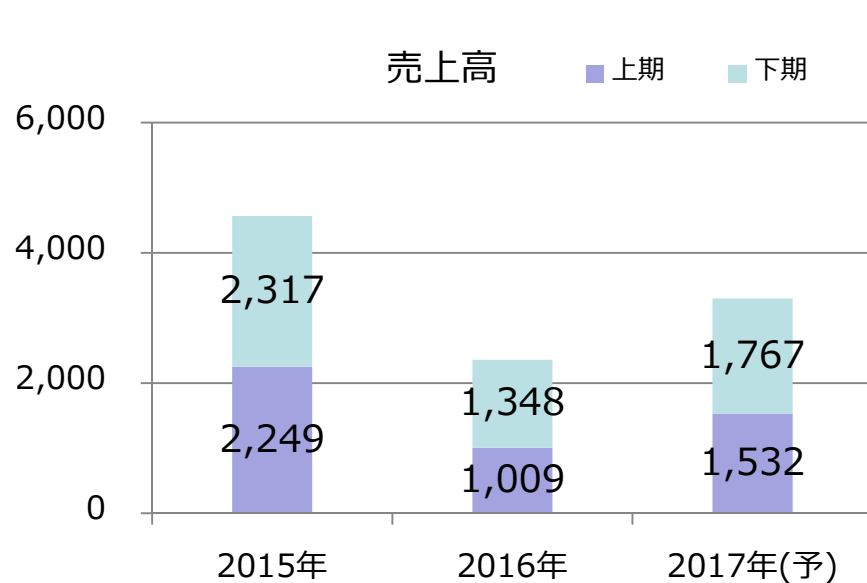
区分	2016年投入	2017年上期投入	2017年下期投入
広角ズーム		3月発売  10-24mm VC HLD (B023)	
標準ズーム			8月発売  SP 24-70mm F/2.8 VC USD G2 (A032) ※クストップレベルの高性能・高画質の大口径標準ズーム
高倍率ズーム			7月発売  18-400mm VC HLD (B028) ※世界最高倍率更新（従来18.8倍⇒22.2倍）
望遠ズーム	9月発売  SP 150-600mm VC USD G2 (A022)	2月発売  SP 70-300mm VC USD (A030)	2月発売  SP 70-200mm F/2.8 VC USD G2 (A025)
単焦点/マクロ	2月発売  SP 90mm F/2.8 VC USD (F017)	3月発売  SP 85mm F/1.8 VC USD (F016)	

TAMRON

Ⅱ-4. 2017年 セグメント別通期計画 ②レンズ関連

(単位：百万円)	2016年 通期実績	2017年 通期計画 (期初計画)	2017年 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	2,358	3,600	3,300	+941	139.9%	△300	91.7%
営業利益	75	200	200	+124	265.4%	±0	100.0%
営業利益率	3.2%	5.6%	6.1%	+2.9%	-	+0.5%	-

➤ 増収増益見込みは変わらず。期初計画比では売上はDSC/VCで上方修正も、ドローン向けで下方修正。利益は維持。



TAMRON

レンズ関連 新規事業領域の状況

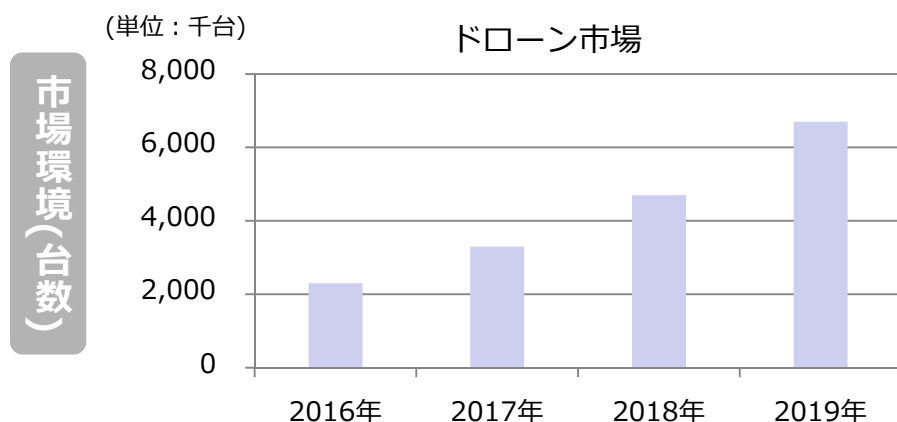
ドローン



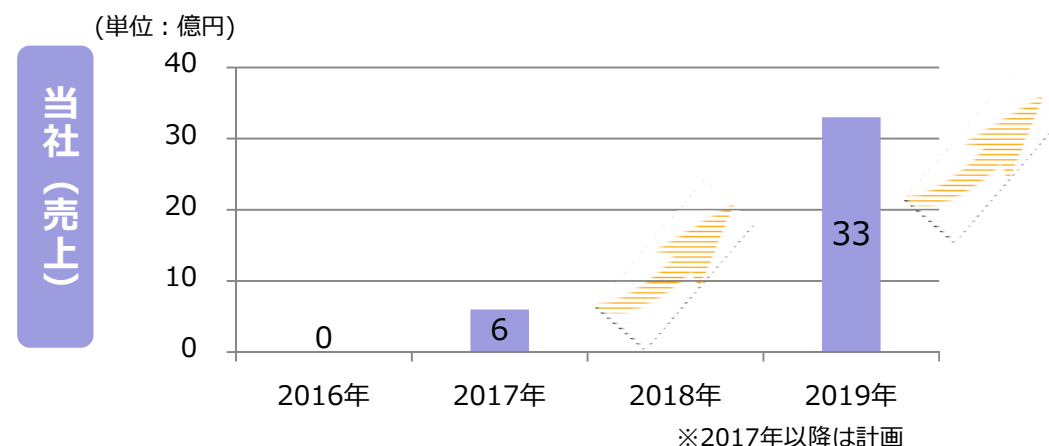
<求められる技術>

- ・ **重心を考慮した設計力** (飛行中の動きに対応)
- ・ **高解像** (カメラ機能強化による差別化に対応)
- ・ **小型・軽量** (飛行時間に影響)

<参考情報>



※2017年は開発スケジュールの見直し等で売上を下方修正も、
中長期の事業見通しに変更なし



現状: 民生 (娯楽) が多い ⇒ 将来: 産業用 (業務用空撮、運送、農作物観察、農薬散布、測量、建造物点検等) で、様々な分野に活用見込み
⇒ **大手メーカーとの協業で市場成長に伴った売上拡大を目指す。**

【大手ドローンメーカーとの協業】

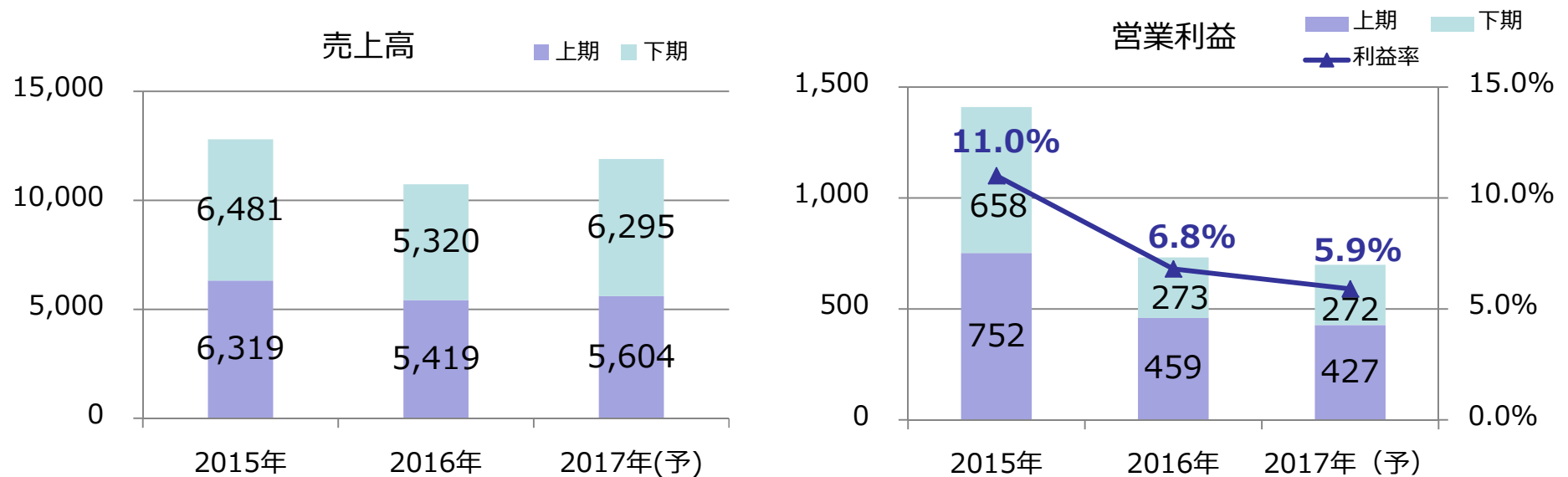
2015年: 協業に向けた動き ⇒ 2016年: 製品開発 ⇒ 2017年: 納入開始

TAMRON

Ⅱ-4. 2017年 セグメント別通期計画 ③特機関連

(単位：百万円)	2016年 通期実績	2017年 通期計画 (期初計画)	2017年 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	10,739	11,900	11,900	+1,160	110.8%	±0	100.0%
営業利益	733	600	700	△33	95.4%	+100	116.7%
営業利益率	6.8%	5.0%	5.9%	△0.9%	-	+0.9%	-

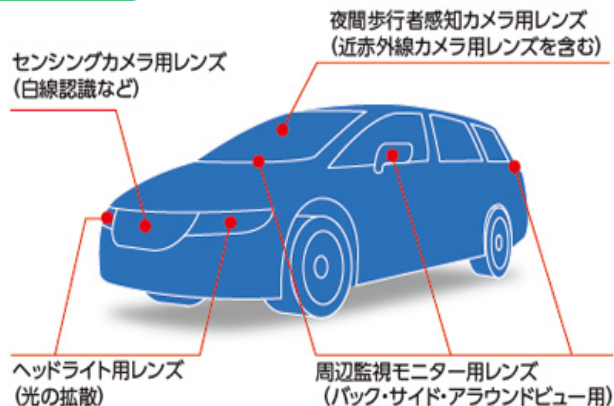
➤ 増収減益は変わらずも、利益は上方修正し、先行投資負担はあるが前年並みの利益を確保。



TAMRON

特機関連事業 成長分野の状況

車載



<求められる技術>

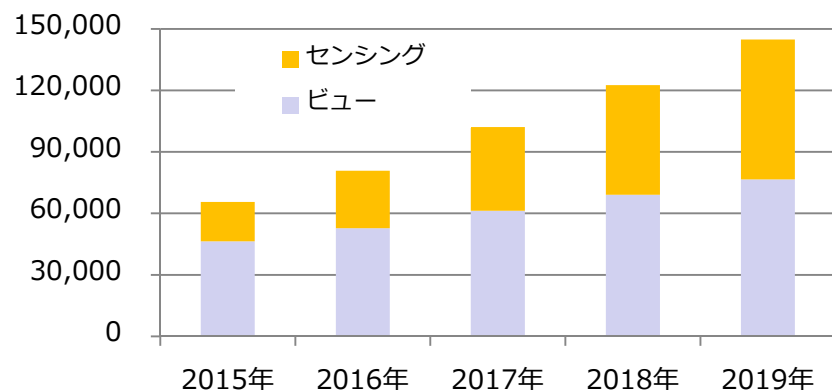
- ・コーティング
 - ・高耐熱性
 - ・高信頼性
 - ・高精度レンズ/鏡筒 金型加工技術
- (・BCP含む安定供給力)

<参考情報>

(単位：千台)

車載カメラ市場

市場環境
(台数)

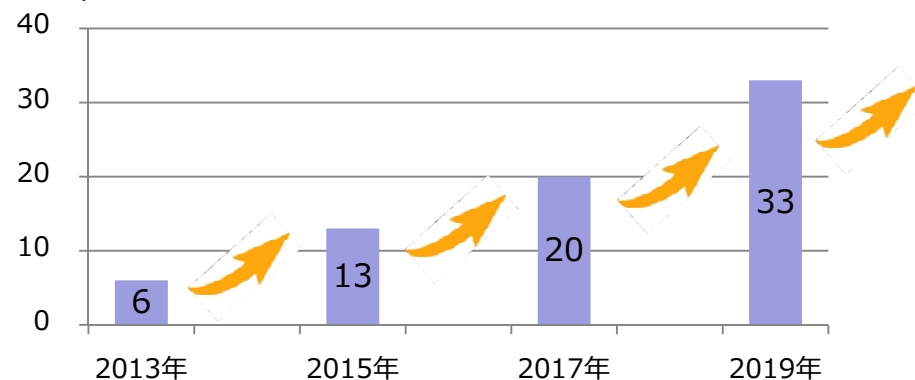


- ・ビュー：価格競争激化により単価下落
⇒ 台数は増加も、金額ベースでの成長に懸念

※将来を見据えた事業推進の成果により、順調に成長

(単位：億円)

当社(売上)



- ・センシング：要求性能高まり、単価は維持・上昇
⇒ 台数の増加に伴い、金額ベースでも成長
⇒ センシングに注力
(強みである技術力を活かせる)

※2017年以降は計画

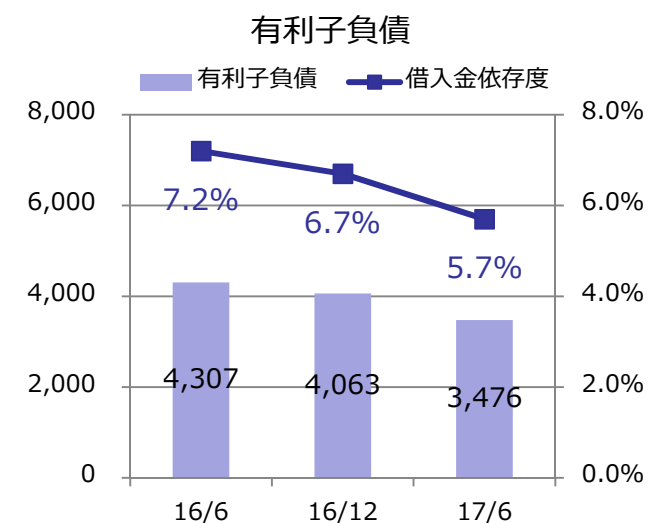
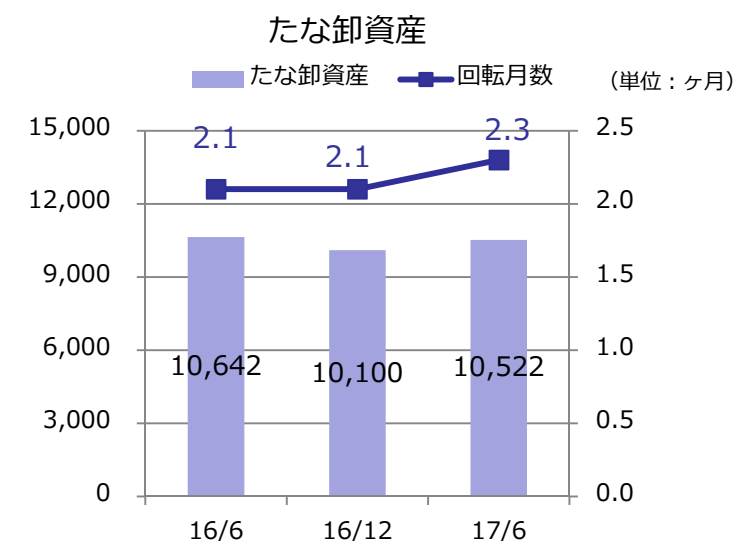
TAMRON

Ⅲ. 参考情報

TAMRON

Ⅲ-1. 財政状況

(単位：百万円)	2016年 6月末	2016年 12月末	2017年 6月末	増減 (対前期末)
現金・預金	15,083	16,030	17,645	+1,615
受取手形・売掛金	12,667	13,419	11,991	△1,428
たな卸資産	10,642	10,100	10,522	+422
その他流動資産	2,006	2,039	1,577	△461
固定資産	19,056	19,320	18,878	△441
資産合計	59,455	60,910	60,615	△294
流動負債	11,965	11,388	10,982	△405
固定負債	2,662	2,200	2,231	+30
純資産	44,827	47,321	47,401	+79
負債純資産合計	59,455	60,910	60,615	△294
自己資本比率	75.4%	77.7%	78.2%	+0.5%

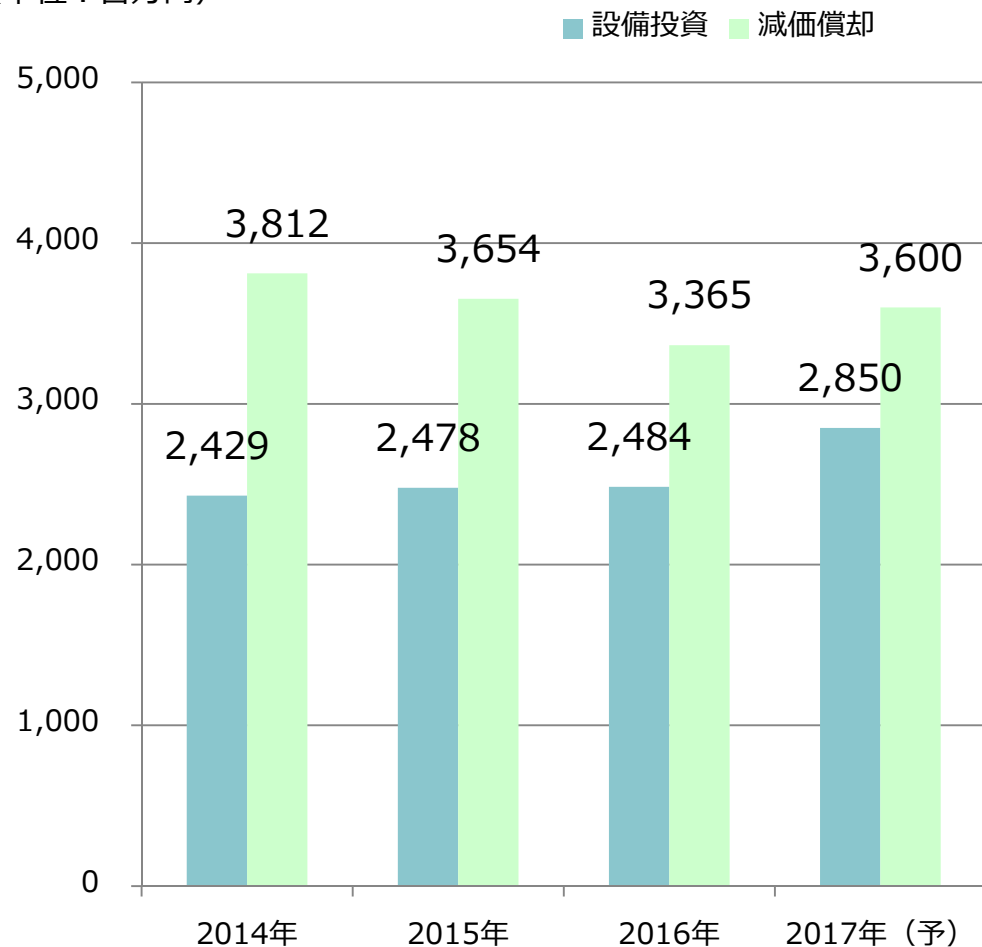


TAMRON

Ⅲ-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

設備投資額・減価償却費

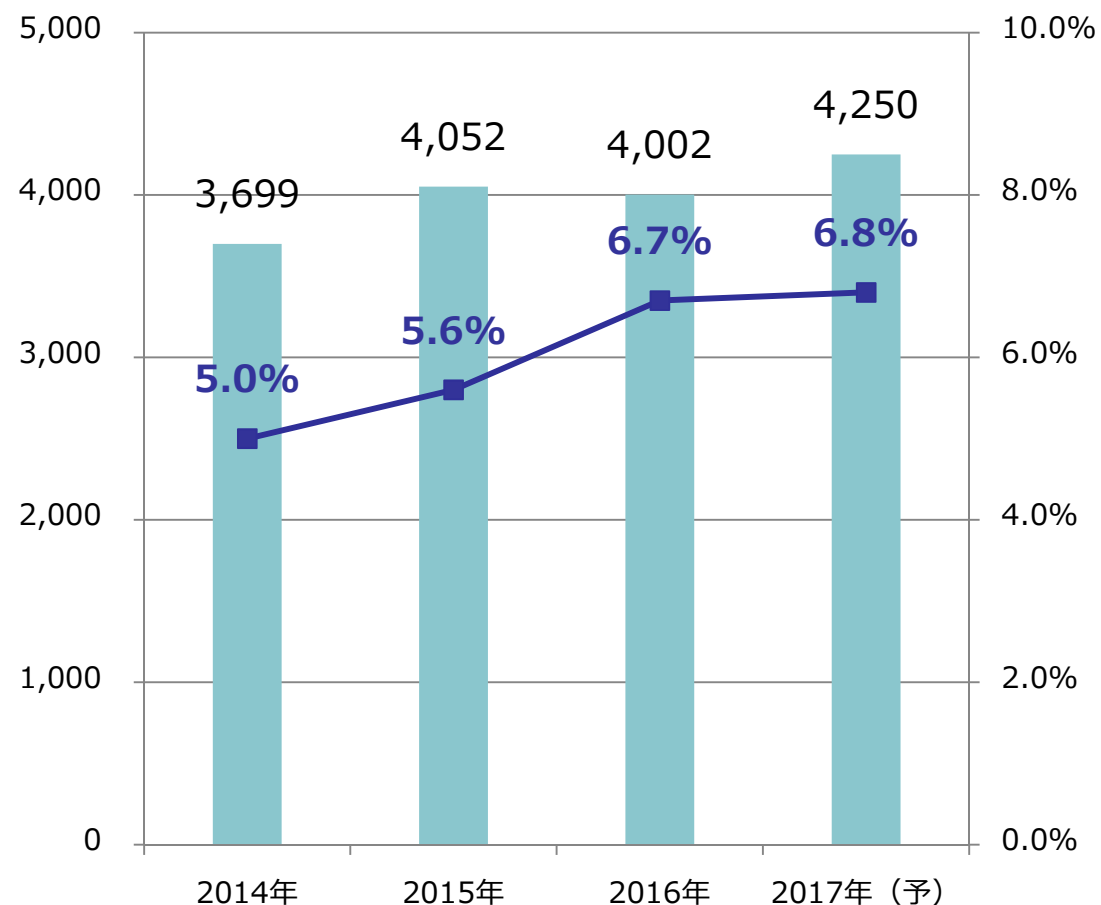
(単位：百万円)



研究開発費

(単位：百万円)

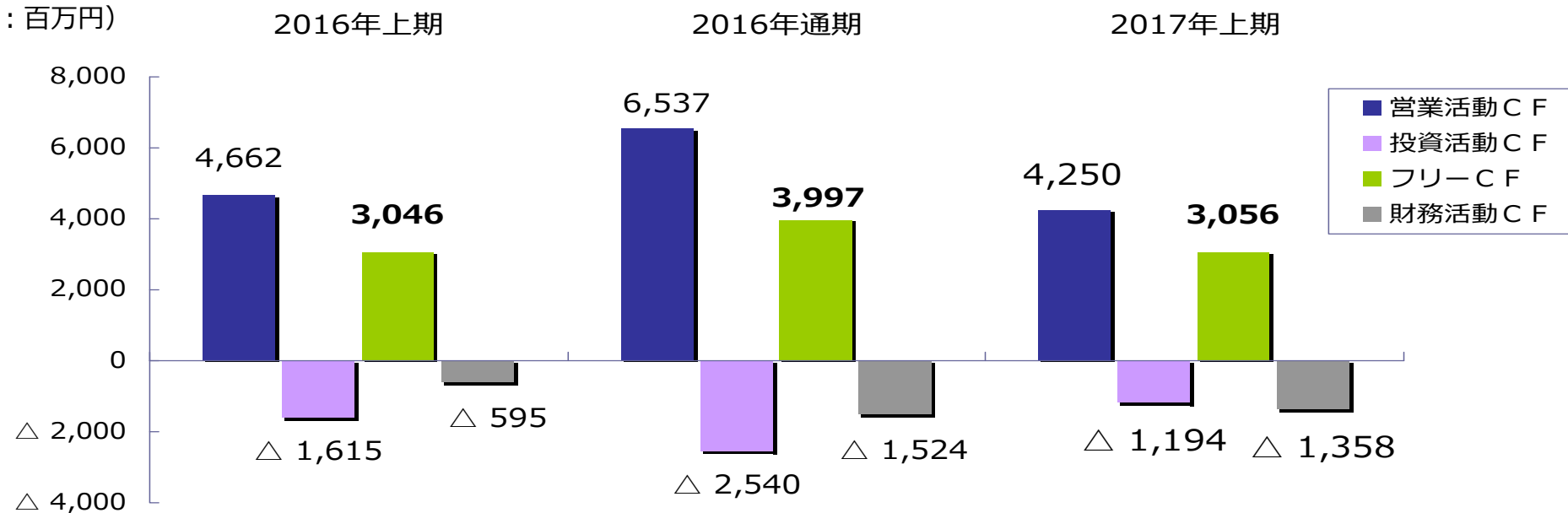
売上高
研究開発費比率



TAMRON

Ⅲ-3. キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



	2016年上期	2016年通期	2017年上期
営業活動CF	4,662	6,537	4,250
投資活動CF	△1,615	△2,540	△1,194
フリーCF	3,046	3,997	3,056
財務活動CF	△595	△1,524	△1,358
現金及び現金同等物の期末残高	15,083	16,030	17,645
手元流動性(ヶ月)	2.97	3.21	3.93

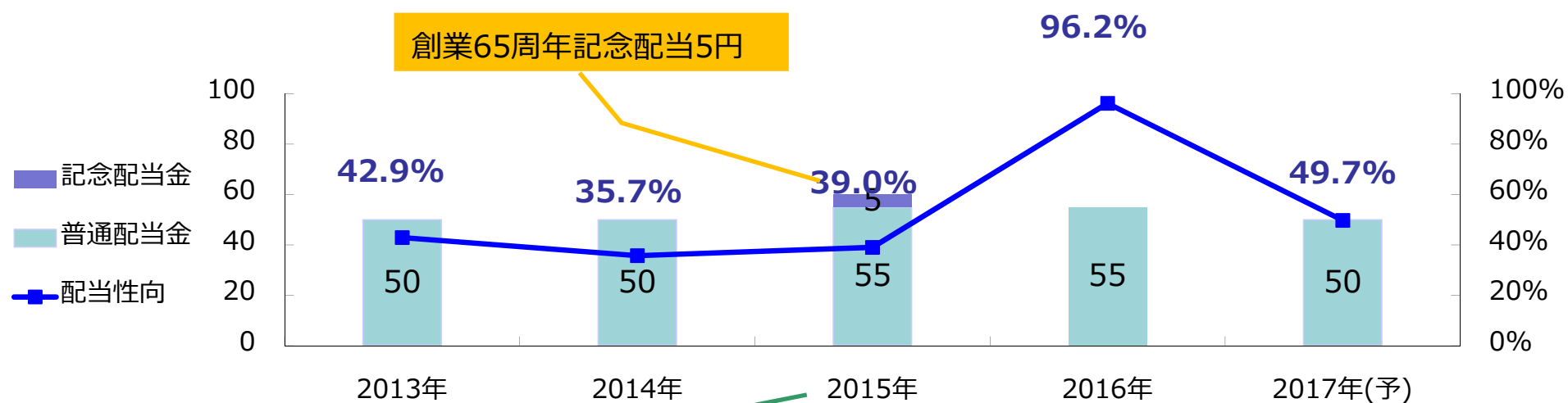
TAMRON

Ⅲ-4. 配当金の推移

(単位：円)	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年 (予定)
中間	20.00	20.00	25.00	25.00	25.00
期末	30.00	30.00	35.00	30.00	25.00
合計	50.00	50.00	60.00	55.00	50.00
配当性向(連結)	42.9%	35.7%	39.0%	96.2%	49.7%

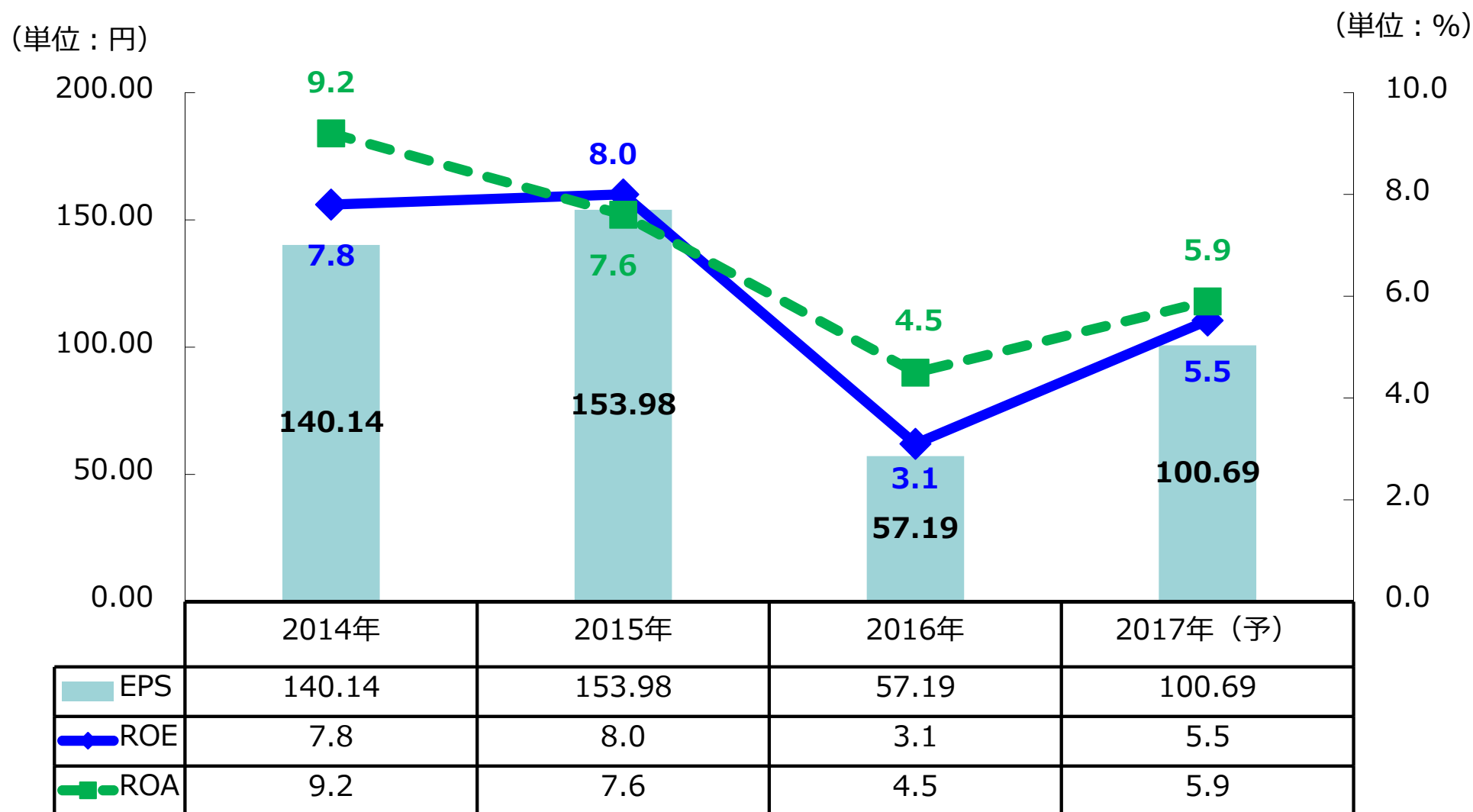
配当政策

- ・ 安定配当
- ・ 配当性向目標(連結ベース) : 35%程度



TAMRON

Ⅲ-5. 主要経営指標



ROE = 当期純利益/純資産 (分母は期中平均)

ROA = 経常利益/資産合計 (分母は期中平均)

TAMRON

Ⅲ-6. 為替影響

①2017年上期 為替影響額

	為替レート		影響額	
	2016年上期実績	2017年上期実績	売上高	営業利益
米ドル	111円72銭	112円35銭	±0.0億円	+1.0億円
ユーロ	124円56銭	121円70銭	△1.0億円	△1.0億円
他通貨	-	-	△0.5億円	±0.0億円
合計	-	-	△1.5億円	±0.0億円

(前期実績に対する影響額)

②2017年下期 為替感応度

	為替レート	1円の変動 (円高)による影響額	
	2017年下期前提	売上高	営業利益
米ドル	110円00銭	△1.6億円	±0.0億円
ユーロ	125円00銭	△0.5億円	△0.4億円

TAMRON

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2017年12月期第2四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。